

社会数理先端科学 I

講師（特任教授）：中川淳一（数理科学研究科 社会連携講座）

集中講義形式：

2月7日（木） 9：10-9：40 導入（場所：東大 数理科学研究科 052号室）

東京駅八重洲口前10：45発、アクアラインバスで

新日鐵住金(株)君津製鐵所に移動

12：05-16：00 君津製鐵所で昼食、工場見学、議論

君津製鐵所16：27発、アクアラインバスで東京に移動、

東京駅八重洲口前17：44着

2月8日（金） 13：00- 講義、レポート提出（場所：東大 数理科学）

講義題目：数学・数理科学と諸科学・産業との連携に必要なコミュニケーション力を身につけるために

シラバス：

数学の裾野（数学と諸科学・工学・産業・社会との関わり）を広げることが目的に、自分の専門領域以外の人とのコミュニケーションの仕方を、議論主体の講義を通じ学んでいただきます。ここでの「自分の専門領域以外」とは、講師の所属する企業の研究領域だけでなく、数学内部の多岐に亘る研究領域を含みます。

講義の進め方は、以下のとおりです。

- 1) 数学と製造現場の関わりを体験いただくために、新日本製鐵株式会社君津製鐵所の工場見学を2月7日に企画しますのでご参加ください。
- 2) 翌日2月8日に、ご自身の研究課題を、出席者全員の前で10分程度の時間で判り易く説明いただいた後、出席者全員が議論に参加し、質疑応答の過程を通し、できるだけ平易な言葉で自分の考えを相手に伝え共感を得るためのコミュニケーション力を身につけていただきます。また、質疑応答時の自主性、質問の仕方（相手の感情を動かす、敵をつくらない、相手の共感を得る、等）も評価対象にします。講義終了後に、自分の専門とする数学と実社会の関わりについて、1ページ程度のレポートを提出していただきます。

※参加希望者は

F MSP事務局 佐藤 satokana[at]ms.u-tokyo.ac.jp [at]は @ にかえてください

宛てに氏名・学籍番号・専攻・メールアドレスを明記してご連絡ください。

【2019年1月25日（金）12:00締切】